年間授業計画

高等学校 令和6年度　　教科　家庭　　科目 家庭総合

教　科：家庭　　科　目：家庭総合　　単位数：3　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（1･3･4･5組：高橋・本澤　）　（２組：高橋・福嶋）

使用教科書：（ 未来へつなぐ　家庭総合３６５　教育図書　）

教科　家庭　の目標：男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質･能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	生涯の生活設計 あなたの将来，どうする？	・自分たちはライフステージにおける青年期にいることに気づく。 ・各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ・私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解する。 ・これから起こる人生のライフイベントを想定し，目標をたて，そのための意思決定について考える	【知識・技能】 ・自分や，人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・人生の各ライフステージの特徴と課題について知り，社会状況を考えながら，自分の生活や将来について考えを深め，考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現在の自分のこと，将来の生活設計を考えることについて，意欲を持ってとりくもうとしている。	○	○	○	3
	青年期の自立と家族・家庭　1 自立への一歩を踏み出そう　2 家族・家庭って何？　3 将来の自分と家庭を想像する	・青年期について知り，青年期に必要な自立について考える。 家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解する。 ・将来を見通した職業観を身につける。 ・自分や他者の性を尊重することの大切さを理解する。 ・社会の変化に伴う家族・家庭の変化について理解する。 ・家族・家庭とは何かを，様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 ・家庭生活を支える基本的な法律について理解する。 ・男女共同参画社会について知り，実現のためにできることについて自分なりに考える。 ・18歳で大人になるという自覚を持つ。	【知識・技能】 ・青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。　・家族に関する法律についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え，それらを具体的に描いていくことができる。　・家族・家庭に関する課題・問題点について，社会的な制度，労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し，解決へ導くための考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。　・結婚，家族・家庭の形，家族・家庭の役割について，自分とどうかかわっているのか，興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	20
	衣生活と健康 1　衣服の役割って何だろう？ 2　衣服はどうやってつくられている？　3 自分で衣服をつくってみよう 4　衣服の計画・管理を知ろう 5　今後の衣生活を考えよう	・人間の生活と衣服のかかわり，おもな機能について理解できる。 ・日常の衣生活に関心をもつことができるようになる。 ・ライフステージの各場面に適した衣服，衣服計画の重要性について理解する。 ・衣服の素材の種類や特徴について理解する。 ・購入，活用，手入れ，再利用や廃棄まで考えて，衣服計画をたてることができる。 ・衣服の表示について理解する。 ・衣服の手入れやその方法について，科学的に理解する。 ・ 基本的な衣服製作の技術を身につける。 ・私たちの衣生活が環境に与える影響を考え，持続可能な衣生活について考える。	【知識・技能】 ・衣服製作実習を通して，材料の選択，日常の管理の方法を習得するとともに，基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ，日常着の作成ができる。　・衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ，用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 【思考・判断・表現】 ・衣服の用途によって，適切な衣服素材を考え，判断することができる。 ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ，実生活での衣服管理において，適切な判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣服実習において，製作活動に意欲的にとりくんでいる。 ・衣生活の文化や，自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち，衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

2学期	食生活と健康 1　なぜごはんを食べるの？ 2　私たちは何を食べているの？ 3　安全に食べよう 4　健康に食べよう 5　おいしく食べよう 6　これからも食事を楽しむために	・食事調査を通して，各自の食生活の問題点に気づく。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 ・食品衛生（食品の選択，食中毒，食品添加物）について学ぶ。 ・調理を通して，基礎的な技術を身につけ，食事マナーを実践する。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。	【知識・技能】 ・食事の意義や役割について，食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 ・食中毒の予防法や，食品添加物の特徴をとらえることで，安全な食品について理解している。 【思考・判断・表現】 ・栄養の機能と食品のかかわり，また食品の特性と調理との関係において，科学的な思考を身につけ，食品選択，栄養計算や献立作成など，実際の食事づくりにむけての判断ができる。 ・調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	○	○	○	33
	衣生活と健康	・衣服制作実習を通して、基礎的な手縫いの方法を確認し、日々の生活に生かせるようにする。	【知識・技能】 ・衣服製作実習を通して，材料の選択，日常の管理の方法を習得するとともに，基礎的な手縫いなどの縫製技術を身につけ，日常着の作成ができる。 【思考・判断・表現】 ・完成した作品をししゅうなどを施すことにより，自分らしさを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣服実習において，製作活動に意欲的にとりくんでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3学期	子どもの生活と保育 1 子どもはどう生まれ育つ？ 2 子どもとどうかかわろう？ 3 これからの子育てとは？	・青年期の健康を学ぶことで，次世代を担う子どもを育て，はぐくんでいくことの責任感を養う。 ・子どもの誕生,子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもの食生活・衣生活，安全管理について学び，子どもとかかわれるようにする。 ・絵本作りや読み聞かせを通して，子どもの遊びの意義や課題について考える。 ・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。	【知識・技能】 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・子どもの生活やとりまく環境，また，現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて，情報を収集し，まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生命の尊さについて，自分の現在，将来と結びつけながら，学習しようとする意欲がある。 ・子どものための絵本づくりなどの実践活動に，積極的に参加し，子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。				23
	定期考査			○	○		1
							合計 105